

有限会社黄山プレス工業所

- 1、“曲げられない金属はない”をモットーに、お客様を笑顔にします。
- 2、私たちは志を高く持ち、個々の目標に向かって成長します。
- 3、私たちはすべての人達に誠実さを持って接することで、共に成長していきます。



社名：有限会社黄山プレス工業所
住所：本社 大阪市西区九条南4丁目22-17
玉船工場 大阪市西区安治川2丁目2-16
役職：専務取締役
氏名：黄山 琢真
所属：阪神支部
同友会入会：2015年10月



■事業内容及び会社の沿革

有限会社黄山プレス工業所は、1962年創業の金属加工を行う会社です。曲げ加工・切断加工・孔明け加工など、熟練の技術者の手で各種金属加工を行う会社です。これまで、取引先との信頼関係や口コミを大切に会社を拡大してきた有限会社黄山プレス工業所の黄山氏に経営理念や取り組みについて聞いてみました。

■経営理念（経営指針）の成文化について

経営指針書を作りはじめたのは、2016年とのことで、毎年ブラッシュアップを続けている黄山氏。作り始めたきっかけについて聞くと、当時社長との衝突があり、ビジョンを示すように言われたことから作り始めたのがきっかけとのことでした。

当初は、思うような経営指針書ではなかったという黄山氏ですが、とりあえず、10年は作ると覚悟を決めて作り始めたそうです。

創業時から、加工技術を高め、創意工夫でお客様の難しい要望にも応えるようにしてきた黄山プレス工業所。不可能なことを言われても、お客さまがどうしたいか？なぜしたいか？代替案はないか？を追求して、お客さまの要望に応えるようにしてきたそうです。場合によっては、お客さまに設計について説明し、理解してもらうということもしてきたとのことです。そんな中で、お客様の要望に応えられない場合でも、そこまでしてくれたら仕方ないと思ってもらえるような仕事をしてきたし、していきたいとのことでした。そういった誠実な姿勢が、よい口コミとなり、黄山プレス工業が60年もの間、プレス工業所としてやってこれたとのことでした。

社員の成長を重視し、社員16名全員が参加する全員参加型の経営が、黄山プレス工業所の経営です。黄山氏は、挑戦して、失敗したとしても、それは、成長への近道だと言います。失敗を恐れず、ポジティブな考えで、社員が成長し、会社を成長させたいという熱い思いが伝わってきました。

経営指針書を作った当初、社員はあまり見てくれなかったそうですが、今では、朝礼に持ってきて理念を唱和できるようになり、社内MG研修の際にも目を通すような形で使っているとのことでした。全員が技術だけではなく人間としても成長するのが大切と考える黄山氏は、自社の成長も大切にされていますが、社内MG研修に地元の同業者を招いたり、全社的に地元の同業者との情報交換に努めるなど金属加工の会社が多くある九条という地域の活性化にも力をいれておられます。地域が盛り上がることで、はじめて、自社も繁栄する、地域の同業他社の若手社員なら自社で育てることができるし、自社の社員も他社で育ててもらえる、そういう環境を整えていきたいと熱く語ってくれました。

■今後について

今後、AIやロボットなどが発展しても、それでは対応できない特殊な加工があり、その分野では人の技術が大切になるという黄山氏。新卒採用にも力を入れているそうです。退職する人も少なくはないそうですが、少しずつ定着も見えてきているとのことでした。「挑戦」「創意工夫」「成長」を大切にしながら、全社員参加型の経営で邁進する黄山氏の熱さを感じられる取材となりました。

